

議会だより



北海道福島町議会と議会改革の取り組みについて視察研修

6
月
定例会

議案審議	2～3
一般質問	4～5
委員会報告、全員協議会、議会活動	6～7
新委員会委員、議会の動き、9月定例会の日程	8

平成25年第3回6月定例会

平成25年第3回6月定例会は、6月4日から7日までの4日間の会期で行われました。
町長からは、報告事項5件、平成25年度補正予算5件とその他の案件4件が提出され、
それぞれ原案どおり可決しました。

なお、6月6日に開催された一般質問は、4から5ページに掲載しています。

6月議会の議案審議結果

議案第38号	平成25年度野辺地町一般会計補正予算（第2号）	全員賛成可決
議案第39号	平成25年度野辺地町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	全員賛成可決
議案第40号	平成25年度野辺地町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	全員賛成可決
議案第41号	平成25年度野辺地町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	全員賛成可決
議案第42号	平成25年度野辺地町水道事業特別会計補正予算（第1号）	全員賛成可決
議案第43号	野辺地町すこやか医療費給付条例等の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第44号	友好都市の提携について	全員賛成可決
議案第45号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について	全員賛成可決
議案第46号	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について	全員賛成可決

平成25年度 補正予算

〈一般会計〉
(第2号)

補正額

1,240万円

総額

69億6,300万円

〈特別会計〉

国民健康保険事業
(第1号)

691万1千円 19億9,696万4千円

後期高齢者医療
(第1号)

156万6千円 1億4,826万8千円

介護保険事業
(第1号)

△60万5千円 13億8,262万9千円

水道事業
(第1号)

●収益的収入及び支出

2億7,989万4千円

※職員の異動により収益支出の項目間の額の移動で総額は変更ありません。
ただし、職員の給与費の補正は、議会の議決事項となっているものです。

5月臨時会

常任委員会

◎総務常任委員会

委員長 戸澤 栄
副委員長 古林 輝信
委員 蛇名 猛

町議会は、5月16日、第2回5月臨時会を開き、常任委員会委員、及び議会運営委員会委員、並びに各委員会の正副委員長を選任しました。

また、町長より専決

処分した事項の承認3件、条例等の変更1件、人事案件1件が提出され、それぞれ原案どおり可決、承認、同意しました。

委員会構成

◎議会運営委員会

委員長 岡山 義廣
副委員長 柴崎 伸也
委員 戸澤 栄
熊谷 隆治
杉山 福行
古林 輝信
小坂 徹

◎建設産業保健衛生常任委員会

委員長 熊谷 晴雄
副委員長 野村 秀雄
委員 高田 光雄
倉岡健次郎

◎議会広報委員会

委員長 蛇名 猛
副委員長 野村 秀雄
委員 高田 光雄
杉山 福行
小坂 徹
柴崎 伸也

※最終ページに集合写真を掲載しています。

審議結果

○野辺地町半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例等の一部改正する条例

全員賛成可決

半島振興法省令等の一部改正に伴い固定資産税の不均一課税適用期限の延長等と内容とする条例等の一部改正をするものです。

○野辺地町教育委員会委員の任命

全員賛成同意

野辺地町教育委員会委員に甲斐あゆみ氏を教育委員に任命することに同意しました。

甲斐あゆみ氏

野辺地町石神裏五番地《略歴》

昭和42年12月14日生

平成2年3月

北九州市立大学

外国語学部

英米学科卒業

平成19年4月

ECJジュニア

野辺地教室

6月臨時会

審議結果

町議会は、6月26日、第4回6月臨時会を開き、町長より条例の改正1件が提出され、採決の結果、賛成多数により可決しました。

議案第47号
野辺地町職員給与の臨時特例に関する条例

条例の内容説明

国家公務員の給与削減措置を踏まえて、町職員についても7月から平成26年3月までの間、給与の支給額を減額するための条例です。

2級以下の職員は、2.2%削減。及び4級の職員3.6%削減。5級、6級は職員は、4.5%削減します。

栄養士、保健師は2段階に区分して削減し

ます。

7月から来年3月までの9カ月間で、全会計の職員給与費が約980万円、共済組合負担金が約340万円、合計で約1320万円減少します。

また、職員1人当たりの削減額は、9カ月間で7万3000円ほどになります。

反対意見

岡山 義廣 議員

今、自民党政権に代わり、アベノミクスで円安、大手企業など大変な利益、経済効果がある。地方は、まだ何ら感じるところはないが、経済的な負担は大きいものがある。給与所得者、事業者、特に中小企業、零細企業は大変な負担がかかってきている現状です。よって、今の財政の方針の見通しが困難でなければ、見直すことな

く減額をやってもらいたくないと考えています。提案理由は理解できるが、地域、働いている職員の皆様方の経済的な負担等を考えた場合に、ダブルパンチではないかなと思います。そういったことを考えたときに、私はこの提案に対しては考えていただければいいなと思います。

採決

賛成多数可決

【賛成議員12名】

熊谷晴雄、高田光雄、古林輝信、柴崎伸也、江渡正樹、野村秀雄、熊谷隆治、杉山福行、蛇名猛、倉岡健次郎、戸澤栄、小坂徹。

【反対議員1名】

岡山義廣。



江渡 正樹 議員

女性の特性が生かされる社会づくりについて

江渡議員

先般、JALとパナソニックでは初の女性取締役、東電、伊藤忠も女性の執行役員を登用すると発表がありました。

パナソニックは、マクロ経済の知見を経営に反映してもらう狙があると考え、また、安倍総理は国家戦略成功には女性の活力が必要である趣旨のお話があり、今日は女性の特性を生かす社会へと進んでいます。

さらに、女性の社会参加はGNPを15%引き上げると言われ、女

性の特性が生かされる社会づくりは町にとって欠かすことができないものと思いい、次の点について質問します。

最初に、女性模擬議会の開催です。

女性の声を聞くとともに、模擬議会へ出られた方に町議会への門戸を開くものになります。

次に、行政主導による町内女性企業家を対象としたまちおこし検討会の開催です。

それぞれの企業を代表されている女性の方々は、町の情勢だけでなく中央の流れを読み取りながら経営に当たっていて、女性ならではの情報力と企画力があります。

政府が女性の特性を生かす施策を打ち出す中において、町の施策を町長はどのようにお考えになっているのか伺います。

女性の特性を生かしたまちづくりの構築

中谷町長

最初に、行政施策の一端として、男性と女性が良好なパートナーシップのもとに地域、家庭、学校、職場など社会のあらゆる分野において協働し、責任を分かち合い、それぞれが個性と能力を発揮できるような社会実現に向けて、その基本方針となる野辺地町男女共同参画基本計画を策定しました。

これは、お互いを理解、尊重し、協働でつくる明るく元気ある未来を目指すことを将来の姿として、町民との協働のまちづくりの考え方を踏襲し、女性の町政やまちづくりに対する関心の醸成と積極的な参画を促進していかなければならないこ

とは十分に認識しているところであり、議員の思いに同感するものです。

女性模擬議会の開催については、11年度から15年度までの5年間実施しました。

18人の女性が参加し、9人の方が一般質問に登壇し、傍聴人も41名ほどありました。

私は、町の将来像、笑顔あふれるまちのへじを実現していくため、町長としゃべる会の開催など多様な公聴活動を通じ、町民ニーズを的確に把握するためにも、また女性の町政参画の有効な手段として捉えていますので、女性模擬議会実施に向けて検討したいと考えています。

次に、私は機会あるごとに町商工会女性部や漁協、農業関係者をはじめ女性団体の女性学習サークルの皆様と

ともに意見交換をして、その中でまちづくりに対するご意見、ご提言をいただいております。

また、町の各種審議会や行政委員会などへ女性を積極的に登用し、ご意見を町政に反映していく努力をしています。

男女参画事業担当の教育委員会においては、今年度、県と連携

して、女性の社会進出の動機づけ及びスキルアップを図るために、あおもりウイメンズアカデミー、女性起業家育成講座を開催することとしていて、あわせて役場職員を対象に研修会を開催し、推進体制の整備と職員の資質向上を図ることとしています。

つきましては、議員ご提案の趣旨の事業を展開することによっていますので、ご理解を

いただければと思います。

男女共同参画社会の形成は国を挙げて推進しており、新聞報道によるとアベノミクス三本の矢の一つとして女性の活躍を成長戦略の一環として位置づけ、自民党の女性活力特別委員会においては女性の活躍を促進するよう政策を発表したようであります。

女性の特性を生かしたまちづくり構築のためには、女性の社会進出の促進とそれをサポートしていく取り組みが求められますので、今後、計画の啓発と各種情報の発信に努め、より一層関係機関と連携しながら男女共同参画の推進に努めたいと考えていますので、ご理解をいただきます。



小坂 徹議員

未舗装、未改良道路の整備対策等について

小坂議員

今快適で住みよい生活を送るためには、生活環境のインフラ整備の充実が重要かつ不可欠であり、その強化が切望されます。今後は過疎化、少子高齢化の急速な社会の動向、変化への対応、限られた財政運営の中で人に優しい道づくり、物づくりが求められます。町民の方々から「うちの前の町道は、いつになつたら側溝が入り、舗装の改良整備が行われるのでしょうか」と、声があります。住民ニーズを尊重し、生活環境を改善すべきと考えます。

生活道路、町道の新設、未整備区域の改良事業等、インフラ整備

に関する基本的な理念、計画、構想について考えを伺います。

地域の利便性向上と環境改善に努めたい

中谷町長

第5次総合計画を基礎としてまちづくりを推進します。

町道整備は、現地調査、事業費の算定、緊急などを調査し、将来的な計画、整備を進めます。また、石神裏・上川原線の歩道整備は、25年度完了予定です。さらに橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化した橋の修繕を計画的に実施、道路の安全対策にも取り組みます。今後道路整備や安全対策を推進し、道路整備の効果が地域の利便性の向上や環境の改善に役立つよう努力したいと考えています。

松ノ木平跨線橋歩道の安全対策について

小坂議員

跨線橋歩道スロープは、冬期間は一般道路

の除雪、降雪等と重なり、除排雪作業等が大変厳しい環境です。地域住民による除排雪が行われていますが、大雪と地域の方々の高齢化等により厳しい状況です。

また、歩道スロープ頂上階下には2万ボルトの電流電線があり、防護ネット1枚だけの対応で、歩道頂上約30mが堆雪による滑り落下の可能性も生じます。

児童生徒の通学路、地域住民の生活道路でもあり、安心で安全な道の確保への施策が必要と考えますが、今後の対応、対策について伺います。

地域の方々に感謝。今後も県に働きかける

中谷町長

松ノ木平跨線橋の歩道は、県が維持管理を行っています。冬期間の歩道スロープは融雪装置により堆積しないが、頂上部は降雪がそのまま堆積します。このことから、県に歩道橋の除雪を要請したところ、今後歩道除雪に

ついて検討したいと回答を得ています。歩道橋の安全対策は、早急な対応が必要であり、今後も県に対し積極的な働きかけをするとともに、長年除雪を行っていたいた地域の方々に感謝を申し上げ、冬期間の歩道の確保に向けて人員の確保や財政措置についても検討したいと考えています。

小公園の環境保全と公衆トイレの設置について

小坂議員

既存の公園は地域住民からより親しまれ、有効に活用していただくためには、住民ニーズの把握、各方面からの意見を取入れた公園づくりが必要です。地域小公園の中で公衆トイレがない公園は中道ふれあい公園だけです。公衆トイレの設置、環境保全をどのように考えているのか伺います。

自治会から要望があれば協議したい

中谷町長

中道ふれあい公園は10年3月31日から供用開始し、地域の要望に応え15年5月に簡易水洗トイレを設置しました。しかし、四、五年前に自治会よりトイレの管理等に無理があるので撤去要望があり撤去しました。現在、自治会から直接公衆トイレ設置要望は受けていませんが、自治会からの要望があれば、維持管理方法も含めて協議したいと考えています。

今後の下水道整備計画について

小坂議員

美しい自然、多様な生物を次世代に引継ぐためにも、以上の環境保全に取組む必要があります。野辺地川、むつ湾など公共水域にある環境保全は優先して取組む課題と考えます。下水道整備が休止され、合併処理浄化槽の

整備だけで解決と言えるのか。保全対策上、公共下水道整備計画の見直し、事業再開への構想について伺います。

慎重を期して判断したい

中谷町長

14年度策定の財政再建計画により、財政が好転するまで公共下水道事業を休止、22年度には事業規模の縮小と28年度までの事業休止について県知事の認可を受けています。今後公共下水道事業を実施する場合、事業費ベースで30億円以上の財政支出が見込まれ、人口減少、少子高齢化の中で確実に町財政を圧迫すると想定します。本事業について、社会経済情勢や財政状況を踏まえ、慎重の上にも慎重を期して判断しなければならぬと考えています。

委員会報告

総務 常任委員会

5月27日

介護・福祉課

「民生・児童委員の一斉改選、自立支援医療・育成医療の申請・相談窓口の移譲、24年4月30日現在の介護保険料の現年度と滞納繰越分の収納状況について」報告がありました。

学校教育課

「野辺地町立小学校適正規模配置計画検討委員会と野辺地中学校ミニメント制作について」報告がありました。

社会教育・スポーツ課

「子ども音楽・芸術祭、ふるさと探偵団、男女共同参画事業、体育施設改修工事、中央公民館改修工事などについて」報告がありました。

税務課

「24年4月30日現在の個人町民税、法人町民税、固定資産税、軽自動車税、国保税の現年度と滞納繰越分の収納状況について」報告が

ありました。

町民課

「国民健康保険事業の一般分、退職分の給付額、一般加入者の1人当たりの医療費、国保税額モデル世帯の試算、国保加入者1人当たりの保険税額について、戸籍副本データ管理システムの構築について」報告がありました。

防災安全課

「地域防災計画の地震編、風水害等編、原子力編の24年度取組み状況と25年度取組み計画、主なスケジュールについて」報告がありました。

財政課

「24年度第4・四半期の建設工事入札結果と25年度建設工事の発注見通しについて」報告がありました。

地域戦略課

「北部上北連携バス交通対策事業、埼玉県久喜市との友好都市提携、原子力立地給付金減額支援助成金交付事

業について」報告がありました。

建設産業保健衛生 常任委員会

5月29日

農林水産課

「馬門地区農地整備事業と漁業経営基盤強化事業について」報告がありました。

健康づくり課

「定期予防接種、風疹予防接種（成人）の接種助成、特定健診計画、がん検診実施計画について」報告がありました。

地域戦略課

「2013のへじ常夜燈フェスタは7月19、20日開催。のへじ祇園まつりは8月15、18日の4日間で実施、烏帽子岳山開きは6月9日、久喜市ブルーフェスタは6月23日、十符ヶ浦海水浴場開きは7月12日」と報告がありました。

水道課

「水道工事関係は、愛宕配水池防水工事を7、10月に予定。枇杷野

台団地老朽管更新工事を9月、11月に予定」と報告がありました。

建設環境課

「駅前広場整備工事は、駐車場、進入路新設工事、シエルト新設工事の地質調査と実施設計、歩道整備工事を予定、工期は9月、26年3月まで。石神裏・上川原線歩道改良工事は、たかのでんきからエルマートクマサワまでの左右630mの歩道の舗装、排水構造物、区画線、歩道境界ブロック工事、工期は6月、11月まで」と報告がありました。

原子力エネルギー 対策特別委員会

5月24日

日本原燃株式会社から工藤専務ほか5名のご出席をいただき、ウラン濃縮工場、低レベル放射性廃棄物埋設センター、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター、使用済燃料受入貯蔵施設、再処理工場、MOX燃料工場の現状について説明がありました。さらに、震災以

降の再処理工場の取組み、しゅん工に向けた取組み、ガラス溶融炉等の設備改善、事前確認試験の結果、B系列ガラス固化試験の結果、A系列ガラス固化試験実施中の概要、今後の課題等について、資料に基づき詳細に説明がありました。

議会改革検討 特別委員会

4月3日

25年3月定例会において、「地方分権改革の進展により、地方議会の果たすべき役割や責任もますます重要となってきた」という経緯を踏まえ、積極的な情報公開と町民参加、自由闊達な討議を通じて町民の負託にこたえていかなければなりません。町民に信頼され、活動力と創造力のある議会を築くために、当町の議会運営、議会機能強化、議会情報公開及び議会への町民参加の在り方等について、検討を行うため、議会改革検討特別委員会を設置する」との目的により、議会よ

り負託を受けた内容について委員全員で確認。

4月11日

図書館視聴覚室で、青森中央学院大学講師佐藤淳氏による「なぜ今、議会改革が必要か」をテーマに講演を開催。

4月18日

佐藤淳氏による講演の復習とこれからの委員会の方向性について検討。

4月24日

議会改革検討特別委員会の方向性は、実績型で行き、町議会の進んでいるところ、遅れているところを洗い出し検証。議会改革基本条例についての参考都市は青森市、会津若松市、福島町とした。

5月2日

鳥取県北栄町議会基本条例を参考都市に加える。

5月23日

先進地視察先は北海道福島町。さらに知識を得て、議会基本条例に生かす。また、活動内容の把握のため福島町議会に関わる資料配布と事前研修会を開催することとした。

全 員 協 議 会

全員協議会

6月4日

埼玉県久喜市との友好都市の提携について

町と埼玉県旧菫蒲町は9年8月に友好都市の提携の協定書を結び、22年3月に旧菫蒲町が合併、久喜市となり協定は自動的に失効となったが、合併以降も久喜市と従前と同様の交流を続けています。

久喜市より改めて友好都市の提携に関する協定を締結したい旨、伝えられ、さらなる友好関係の推進のために協定を締結したい。

さらに、3・11東日本大震災以来、お互いに地域の離れた中での防災協定も必要であり、そういうことも含めた中で交流を深めていきたい。と説明がありました。

全議員が出席。

6月18日

町観光協会の件について

町観光協会の件について、議会運営委員会で協議したことを委員長が報告しました。

委員長より、『議会運営委員会では、町観光協会会長より「5月18日第4回議会報告会におきまして、小職の発言が議員の皆様へ御不快な思いをさせました事に対し、心よりお詫び申し上げます。宜しくお取り計らいくださいますよう、お願い申し上げます。」というお詫びの文章について協議しました。

委員の意見として、町観光協会会長の発言に対し理解を得ることができない。また、数回にわたり議会、議員に対する発言等（報告会があるたびにそれに準ずる発言）は不満や不平があり、この間の報告会で爆弾発言があり、理解を得ることができない。

この結果、「取り計いしない」旨の文章を簡易書留で送付することとなりました。』と報告がありました。

全員協議会では、「観光協会会長に対し釈明の場を与えてはどうか」、「話し合いの場を設けては」との意見があったが、議会運営

委員会の結論を尊重し、『観光協会のお詫びの申し出についてお話し合いをしない』旨、6月19日簡易書留で送付することとなりました。

全議員が出席。

7月9日

町観光協会の件について（経過報告）

副町長より、7月5日観光協会臨時総会にて観光協会長に選任されたことから、これまでの経緯説明と6月28日の緊急役員会による7月5日付で全理事が退任決定と、7月5日の臨時総会による新理事の選任、会長、副会長の決定の説明がありました。新理事は、観光政策の展開は町振興に直結、町一体となった取り組みが必要であり、公職の長、活躍している女性方が新理事となつていきます。と説明がありました。

出席議員は、高田光雄、岡山義廣、古林輝信、柴崎伸也、江渡正樹、野村秀雄、熊谷隆治、杉山福行、姥名猛、倉岡健次郎、小坂徹、梅村毅です。

議会活動

5月16日

学校給食試食会

試食会は馬門小学校で実施、学校給食共同調理場栄養士より献立、地元食材、給食エネルギーなどについて説明をいただきました。

試食会の前には、馬門小学校の授業を見学、さらには学校長、教頭より学校経営・運営について説明をいただきました。

中学校新校舎モニタメント制作の視察

野辺地中学校改築にあたり、伐採した木材を使い、人というテーマにモニタメントを制作され、その現場視察と思いを刻むことができました。

参加議員は、

熊谷晴雄、高田光雄、岡山義廣、古林輝信、柴崎伸也、江渡正樹、熊谷隆治、杉山福行、姥名猛、倉岡健次郎、小坂徹、梅村毅。

6月5日

青森市議会一般質問傍聴

25年2月20日に青森市議会基本条例が制定されたことから、青森市議会定例会で2名の市議会議員の一般質問を傍聴しました。質問内容は、市長の政治姿勢、地域問題、除排雪、福祉行政などについてでした。

この研修により、議会運営と議会改革に努めていきたいと思っております。

参加議員は、高田光雄、岡山義廣、古林輝信、柴崎伸也、江渡正樹、野村秀雄、杉山福行、姥名猛、小坂徹、梅村毅。

7月11日

県下町村議会議員研修会

県町村議会議長会主催による議会議員研修会が開催されました。政治評論家浅川博忠氏を講師として、「これからの政局・政治はどうなる」と題し、政局、選挙などについて解説されました。

参加議員は、高田光雄、岡山義廣、古林輝信、柴崎伸也、江渡正樹、

議会改革検討特別委員会視察研修

6月24日大間町を訪問

大間町議会の議会運営や議会広報作成について研修しました。特に、議会広報は、議会広報編集委員が写真撮影、記事の編集・校正・企画など全て実施していることをご教示いただきました。

6月25日福島町を訪問

議会改革調査2012ランキング上位に位置し、青森中央学院大学佐藤氏の推薦により、北海道福島町議会の取り組み状況について研修しました。

平成11年から議会改革を推進し、『住民がわかりやすく、参加する、しやすい議会。討論をする議会。ベールに住民が実感できる政策を提言する議会。』を視点とし、一歩ずつ前進、改革を進めている状況を研修しました。

野村秀雄、杉山福行、姥名猛、小坂徹、梅村毅。

新委員会委員決まる！！



総務常任委員会委員



議会運営委員会委員



議会広報委員会委員



建設産業保健衛生常任委員会委員

議会の動き

30日	29日	24日	23日	11日	9日	7月8日	26日	25日	21日	18日	10日	7日	6日	5日	6月4日	29日	28日	27日	24日	23日	18日	16日	9日	5月2日
建設産業保健衛生常任委員会 こかぶ農家激励訪問	十和田市議会との懇談会	議会広報委員会	全員協議会	六戸町議会議員との懇談会	県下町村議会議長会研修会	総務常任委員会、 第10回議会改革検討特別委員会 全員協議会	6月臨時会	議会改革検討特別委員会視察研修	議会運営委員会	議会運営委員会、全員協議会	第8回議会改革検討特別委員会	議会運営委員会	6月定例会 議案審議、	6月定例会 一般質問	青森市議会定例会一般質問傍聴	6月定例会 開会	建設産業保健衛生常任委員会	議会運営委員会	総務常任委員会	原子力エネルギー対策特別委員会、 第7回議会改革検討特別委員会	第4回議会報告会	5月臨時会、学校訪問、給食試食 会、モニタメント制作視察	議会運営委員会	第6回議会改革検討特別委員会

9月定例会の予定

3日(火)開 会

- ・町長が議案の提案理由を説明します。
- ・各委員会の委員長が活動の報告をします。

9日(月)一般質問

- ・議員本人があらかじめ提示したテーマで質問し、それに町長ほか町執行部が答えます。

10日(火)～12日(木) 議案等審議

- ・定例会初日に説明された議案に対し、質疑・討論・採択が行われます。
- ※開会時間は、9時30分です。
- ※日程変更等があるかもしれませんので、詳しくは議会事務局までご連絡ください。

※日程変更等があるかもしれませんので、詳しくは議会事務局までご連絡ください。

編集後記

今月は、議会だより144号をお届けします。本号は、6月定例会の審議内容を要約して編集しております。提出された案件につきましては、慎重に審議した結果、原案通り可決されました。

今年も昨年に引き続き北前船「みちのく丸」を迎え、上十三町村長、議長等多数の来客のもと盛大に常夜燈フェスタが開催されました。「みちのく丸」は、東日本大震災からの復興への願いが込められており、野辺地から「勇氣」という風を帆いっぱいを受けて出港しました。

厳しい暑さが続く今日この頃ですが、町民の皆様の益々のご健勝を祈念し編集後記いたします。

なお、5月の臨時会において委員会のメンバーが編成替えとなりましたので宜しくお願います。

(広報委員長 蛸名猛)